

# 平成25年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

平成25年6月6日

発行：岩手県水産技術センター  
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合



## 稚貝の付着は継続も付着数は減少

### < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.6℃と平年並み。水深10～30mで10℃台となっています。透明度は8m（前回12m）でした。
- ラーバの出現数は、唐丹湾で減少し、200μm以上の大型個体の割合は4割でした。（※県北部から県中北部の今期のラーバ調査は終了しました。）
- 試験採苗器の付着稚貝数は57～1,771個/袋（前回64～2,946個/袋）でした。県中南部から県南部で多い傾向です。唐丹湾では前回より減少し付着直後の個体は1割未満でした。
- 県中南部から県南部にかけてムラサキイガイの出現数は、前回より減少しましたが多くの状況が継続しています。付着稚貝数は唐丹湾で1,348個/袋、綾里で938個/袋、黒崎で383個/袋でした。
- 県中北部から県南部にかけて採苗器の投入適期が継続中ですが、ホタテガイの付着稚貝数が減少傾向の調査地点もあることから、残りの採苗器投入を継続してください。ただし、県中南部以南ではムラサキイガイが多数付着することが予想されますので注意してください。

### < 宮城県の状況（6月5日発行気仙沼水試ホタテガイ採苗通報） >

- 気仙沼周辺海域で付着稚貝数が483～7,900個/袋と、付着稚貝数が大幅に増加。採苗袋の投入完了を指示。

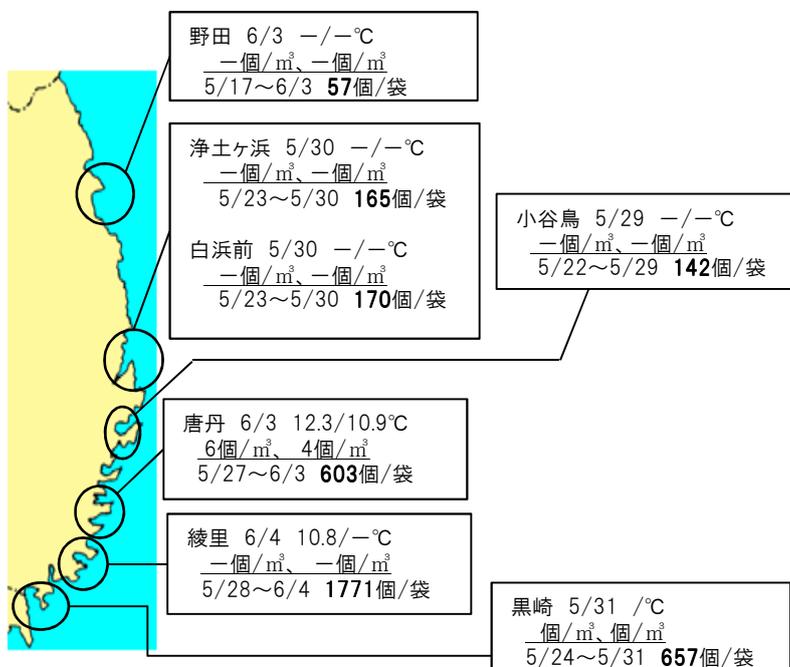


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 0m/10m層水温  
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)  
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

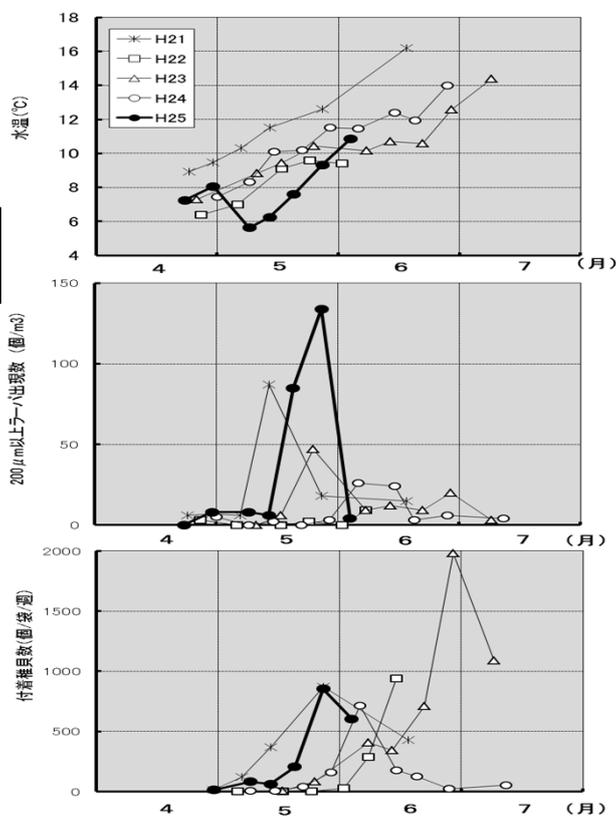


図2 唐丹湾の水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6月12日に発行する予定です。